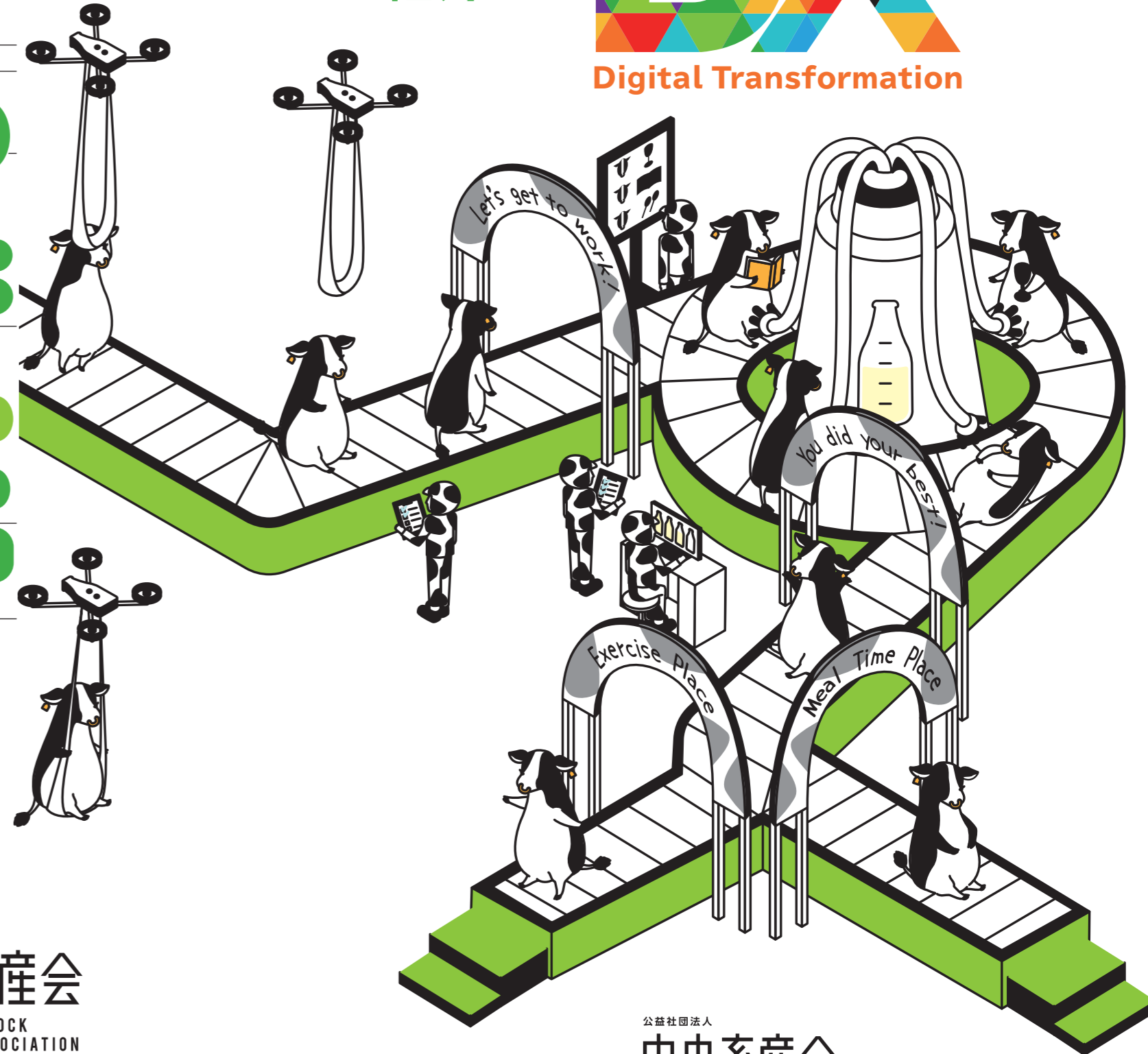


畜産DX

Digital Transformation

令和5年度家族経営における
畜産DX推進事業

Webサイトのご紹介



公益社団法人
中央畜産会
JAPAN LIVESTOCK
INDUSTRY ASSOCIATION

農業DX構想「農業×デジタル」で日本の食と農業の未来を切り拓く。

畜産経営における生産性の向上や労働負担の軽減等に向けて、ITやAI(人工知能)技術を活用した、畜産のデジタルトランスフォーメーション(畜産DX)を推進することが求められています。そのためには、畜産DX技術導入の経済的効果等の評価手法を確立し、家族経営における畜産DX技術の効率的な導入を支援することが重要であることから、畜産DX技術導入による労働負担軽減や所得向上に与える効果を調査し、導入効果を評価することにより、家族経営における畜産DXの推進を図るとともに、魅力ある家族経営の育成を図ります。



(株)コーンズ・エージーズWebサイトより引用



(株)デラバルWebサイトより引用

伊藤忠飼料(株)Webサイトより引用

畜産DX推進事業に関する情報を、こちらのサイトよりご確認くださいませ。全国シンポジウムの様子、畜産DX技術普及ガイドブック、その他関連動画の数々をご覧ください。情報を共有することにより、畜産の元氣な未来を担っていく皆様の助けになることを願ってやみません。



畜産DX 技術普及ガイドブックより(抜粋)

■ 近年の畜産DX技術について

畜産DX技術	鶏	豚	牛
1 畜舎	開放型畜舎：自然換気 閉鎖型畜舎：温度によるファン制御		THHによるミスト制御 次世代閉鎖型畜舎・THH、エアロゾル濃度、画像による牛の位置で環境制御
2 作業の自動化、省力化	自動給餌、給水、ふん尿処理 ふん尿搬出、処理	自動給餌機 マックスフィーダー	自動敷料散布機 餌寄せロボット Lely Juno 堆肥切り返しクレーン
3 個体のイベント検知、生体情報の取得	監視、死鶏発見 ロボット ・Robococco 活動量 ・fancomeYeNamic	画像から体重測定 ・デジタル自動 ・画像から体重 ・音声による疾病発見 fancom eYeGrow	搾乳ロボット ・発情発見 ・疾病発見 VMS V300 ハードナビゲーター 乳質検出装置 ・搾乳毎、個 体別、9成分 温度センサ モバイル牛恩恵 画像による体 型センシング
4 クラウド による 経営管理と 統合制御	見える化、アラームの通知、データ連携	経営管理：Porker	デルプロ チャレンジマン20P アクションプランの提示 酪農クラウド ・環境制御 ・蹄病の早期発見

■ 調査・分析事業の事例紹介(抜粋)

岡山県の導入事例

05 岡山県の導入事例

オリオン機械株式会社 チャレンジマン 20P

① 導入の経緯

岡山県は、畜産の強みを生かして、食料の安定供給と畜産者の所得向上を図ることを目指しています。このため、畜産DX技術の導入を支援し、畜産の生産性を向上させることを目指しています。

② 導入の目的

生産性の向上、労働負担の軽減、疾病の早期発見、飼料の効率化、環境制御の最適化、経営管理の効率化、データの連携、見える化、アラームの通知、データ連携

③ 導入の成果

生産性の向上、労働負担の軽減、疾病の早期発見、飼料の効率化、環境制御の最適化、経営管理の効率化、データの連携、見える化、アラームの通知、データ連携

④ 導入の課題

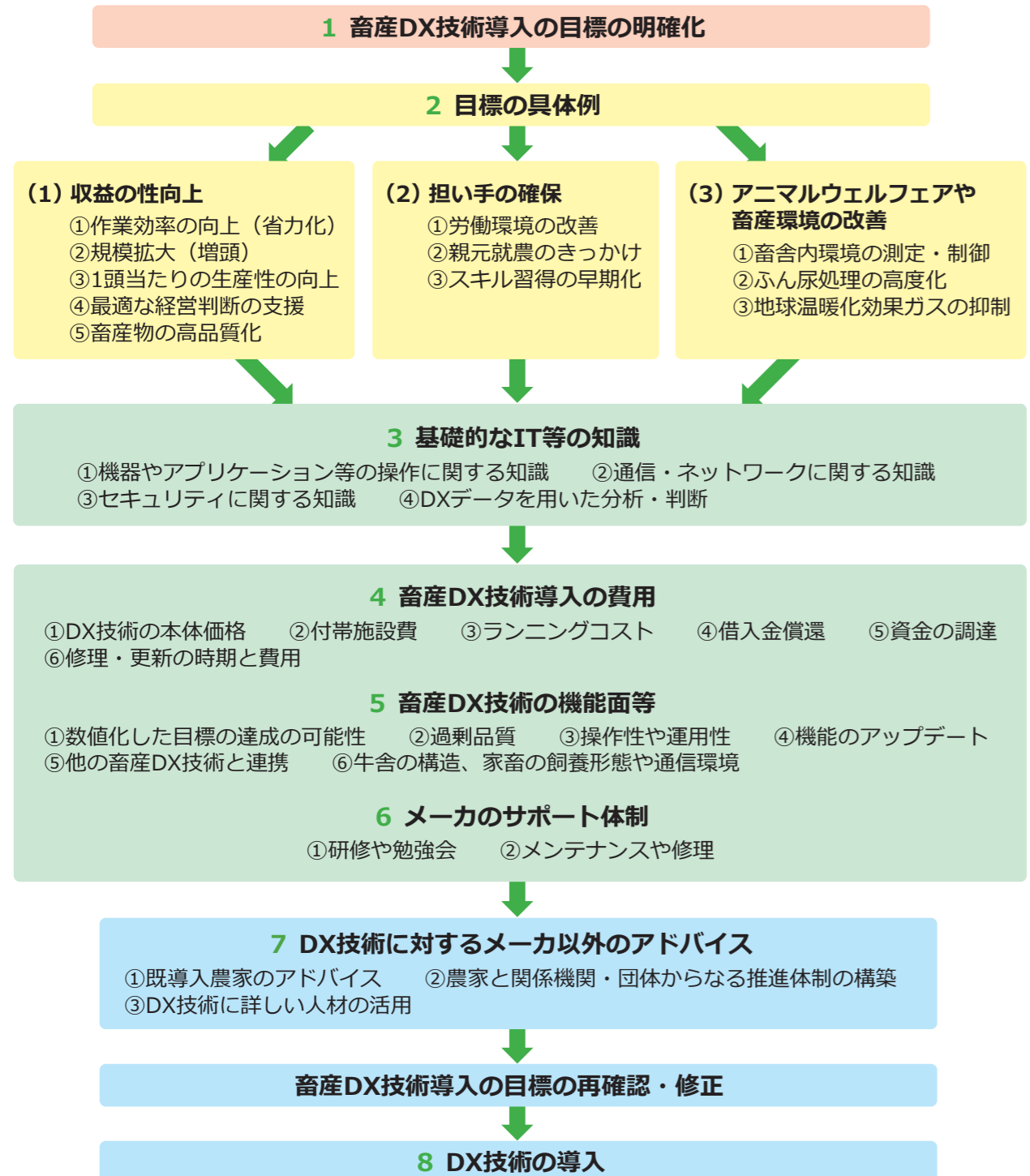
畜産DX技術の導入には、畜産者の理解と協力が不可欠です。また、技術の導入には、畜産者のスキルアップと人材育成が重要です。さらに、畜産DX技術の導入には、畜産者の経営改善と収益向上が不可欠です。

公益社団法人
中央畜産会
JAPAN LIVESTOCK
INDUSTRY ASSOCIATION

畜産DX 技術普及ガイドブックより(抜粋)

■ 畜産DX 技術の選定・導入前に留意すべきポイント

畜産DX技術は、家族経営体にとって新しい技術であり、馴染みの薄いことが多く、また高額な初期費用と維持費が必要な技術もあります。そのため、DX技術の導入は慎重に行うべきであり、導入にあたって留意すべき点を調査・分析の結果から抽出しました。畜産DX技術の導入を考えている畜産経営の経営改善や経営指導、畜産DX技術の製品開発・営業等の場面で参考にいただければ幸いです。



全国シンポジウム動画(抜粋)

2024年1月に開催された全国シンポジウムの動画を、先生方のお話や各県の事例報告等を項目ごとに動画内のプレゼン資料PDFとともに掲載しています。



畜産DX 関連動画のご紹介(がんばる！畜産！)

明るい未来へ向けて畜産DXの取り組み



DXはデジタル技術を活用して業務プロセスやビジネスモデルを変革する事で、畜産分野でも注目されています。令和5年度畜産DX推進事業全国シンポジウムにおける畜産DX技術の実証調査分析報告では3県のDX導入事例を紹介。また報告事例の一つである岡山県長恒牧場を現地レポート。技術指導者や関係機関のサポート体制、技術の活用により、家族経営の収益性向上や効率化が期待されています。地域一体となったその取組をご紹介します。

総集編 畜産DX 2023



いま畜産分野で注目されている「DX(デジタルトランスフォーメーション)」。今年番組で取り上げた岡山県のDXサポート体制、牛の総合診察サポートツール「U-メディカルサポート」、牛の体調変化を見守る「カプセルセンス」など、デジタル技術を活用し業務プロセスやビジネスモデルを変革しています。様々な問題解決に向け実装されているDX導入事例を令和5年度DX推進事業全国シンポジウムのダイジェストと共にお届けします。

2023/03/16



畜産DX特集 総集編 養鶏・養豚の今に迫る

第一次産業の労働者不足は深刻な問題。畜産業もその1つ。畜産業は重労働が多く、労働者の負担が大きい。このような問題を解決するために、畜産DXの推進が欠かせません。番組では養鶏、養豚の分野で畜産DXに取り組む企業、畜産農家を紹介します。

2022/09/16



IPPS2022 特集パート2

「本物との出会い、世界に誇る養鶏・養豚産業の未来がここに」をテーマに愛知県名古屋市で行われた国際養鶏養豚総合展(IPPS2022)の第二弾。施設、機械、器具、システムなど養鶏養豚の最先端技術を前回に続きたっぷりお届け。またイベントステージで行われた特別講演会の様子などもお伝えします。

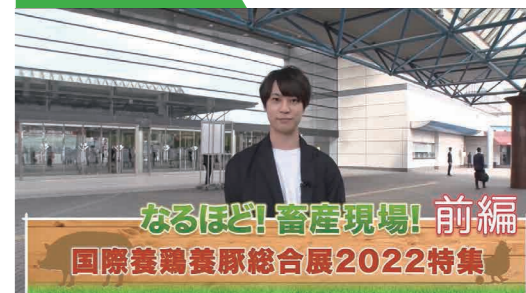
2020/09/23



先端技術を活用する畜産現場を見る!

畜産現場における最新テクノロジーの応用は日々進められていますが、これまで番組では搾乳ロボットはもちろんのこと、行動履歴をトランスポンダーとコンピュータで解析・管理して繁殖に役立てるシステム、また、養鶏経営における集卵・選別・パック詰めなどの作業をロボット化するシステムなどを紹介してきました。今回の番組ではそれらの技術をまとめてご紹介します。

2022/09/16



IPPS2022 特集パート1

「本物との出会い、世界に誇る養鶏・養豚産業の未来がここに」をテーマに愛知県名古屋市で行われた国際養鶏養豚総合展(IPPS2022)を大特集。前回から4年ぶりとなる今回の展示会では過去最高の229社の出展され、養鶏養豚の最先端技術が大集結。その様子をたっぷりとお届けします。

2022/01/24



畜産DX特集 総集編

離農の増加や少子高齢化を背景に、日本では酪農・畜産の大規模化が加速している中、すでに畜産業においてもさまざまなデジタル化や自動化が進められています。畜産の分野において、DX化はどのように進んでいるのか。今後、さらなる技術革新が進み、日本全国へと波及していくことで、酪農・畜産業界に差し込む“希望の光”となるだろう畜産業のDXをお届けします。

2019/09/13



最先端牛舎と酪農の未来

千葉一磨が畜産・酪農魅力発見レポーターとして消費者の皆さんに畜産現場の様子をお届けします。今回お邪魔した栃木県の大規模牧場は、乳牛なんと1300頭!閉鎖型牛舎とよばれる最先端の牛舎や、室内管理・掃除・搾乳など